

稲作だより

～第8号 穂肥 編～

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8637,8638,8632

適期適量の穂肥で高品質米を！！

表1 6月30日現在の生育経過 (作柄診断圃、農業技術普及課調べ)

地域 品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
村山市白鳥	R 3	40.8	495	9.4	44.2
	R 2	47.0	721	9.1	41.2
はえぬき	平 年	39.6	582	9.0	40.5
	平年比	103	85	0.4	3.7
村山市河島	R 3	47.7	582	9.3	40.2
	R 2	42.8	605	8.9	42.8
つや姫	平 年	39.9	574	8.8	42.3
	平年比	120	101	0.5	-2.1
村山市白鳥	R 3	38.6	641	9.1	45.9
	R 2	39.8	727	9.3	42.9
雪若丸	指 標	41.0	590	9.3	43.0
	指標比	94	109	-0.2	2.9

【全般的な傾向】



草丈:並み～やや長い
 茎数:並み～やや多い
 葉数:並み～やや多い
 葉色:並み～やや濃い

移植が早く、茎数が多い圃場では、中干しにより平年並みに落ち着いてきています。移植が遅い圃場でも、概ね目標茎数が確保されました。

1 生育に合わせた中干しで、穂肥のできるイネに仕上げましょう

- まだ中干しに入っていない圃場は直ちに作溝・中干しを実施しましょう。
- 圃場に小ヒビが入り、歩ける（足跡が残る）程度を基本に生育量に合わせて強度を調整しましょう。

表 生育量(茎数×草丈)と中干しの程度

生育量大きい(茎数が過剰) 葉色が濃い		強めの中干し (小ヒビが入ってから、更に数日干す)
生育量小さい 葉色が薄い		弱めの中干し (ヒビが入らない程度)

※表面の土が白く乾くようではダメ (やりすぎです)

【中干し後の水管理】

- 中干し終了直後は、走り水を行い、足跡に水がある程度の飽水管理にしましょう。徐々に、間断かん水に移行（**2日湛水・2日落水**、または**2日湛水・3日落水**）します。
- 根の健全化を図り、地表付近の根の生育を向上させるため、出穂まで間断かんがいを続けましょう。この根が穂肥を効率的に吸収し、登熟を高めます。
- 穂肥施用時は水尻を閉じて、浅水状態（水深3cm程度）で散布しましょう。

2 生育診断で、適期適量の穂肥

《品種別の生育診断と追肥量・時期の目安》

①はえぬき

○7月10日の生育（茎数と葉色）から図1、表2を参考に追肥時期・量を決定します。

葉色(SPAD)が40以上の場合は、穂肥の窒素量は1.0kg/10aに減らしましょう。

《出穂前日数の判断の仕方（各品種共通）》

幼穂の長さ：1mm程度 → 25日前頃

(↑ 茎を削いで見る) 2~3mm → 20日前頃

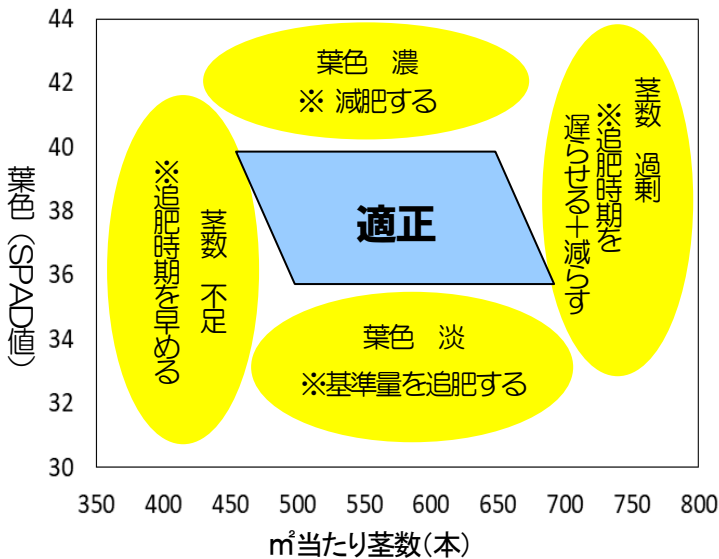


図1 7月10日の茎数・葉色と穂肥対応(はえぬき)

〈はえぬきの穂肥基準〉

追肥窒素量 1.5~2.0kg/10a、出穂前25日

表2 7月10日頃の生育診断と対応技術(はえぬき)

生育(茎数・葉色)	診断	穂肥対応
茎数700本/m ² 以上	茎数過剰	時期を遅らせる+減らす
茎数450本/m ² 以下	茎数不足	時期を早める
葉色40(SPAD)以上	葉色濃い	減肥する
葉色36(SPAD)以下	葉色薄い	基準量を施肥する

②つや姫

○栽培マニュアル、「つや姫だより」を参照してください。

③雪若丸

○栽培マニュアル、「雪若丸だより」を参照してください。

④ひとめぼれ

○出穂20日前に、葉色40 (SPAD) 未満を確認し、窒素量1.0~1.5kg/10aを目安に追肥します。

⑤あきたこまち

○出穂20日前に、窒素量1.5~2.0kg/10aを目安に追肥します。

⑥山形95号

○出穂25日前に、窒素量1.5~2.0kg/10aを目安に追肥します。7月10日の生育指標は草丈60cm、茎数500~600本/m²です。過剰な穂肥施用は倒伏につながります。

3 葉いもち対策・斑点米カメムシ類対策の徹底

- ・梅雨の時期は、葉いもちが感染しやすく、村山地域でも発生が確認されています。ほ場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。
- ・例年6月下旬以降から斑点米カメムシ類の発生が急激に多くなります。本年の発生はやや多い見込みです。特にイネ科雑草が繁茂している畦畔、農道周辺では発生が多いので、地域ぐるみで一斉草刈を徹底し、斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- ・水田内のノビエ、イヌホタルイ等にも斑点米カメムシ類が飛来しやすいので、水田内に残った雑草対策も必要です。

◎熱中症・農作業事故に注意！

水分補給と休養をこまめに取しましょう。